

第 36 期

中間事業報告書

自 平成16年 4月 1日
至 平成16年 9月30日

株式
会社 **高見沢サイバネティックス**

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は、平成16年9月30日をもちまして第36期（平成16年度）の中間決算を行いましたので、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、為替相場の不安定、デフレの継続、若年層失業率の高止まり等はあるものの、米国経済やアジア特に中国経済の高成長に支えられた輸出や生産の増加により緩やかなテンポながらも景気は順調に回復を続けてきました。

このような経済環境のもとで、当社は主力製品である自動券売機をはじめとした駅務システム機器を中心とした交通システム機器、金融機器・汎用機器ユニットを中心としたメカトロ機器並びにICカード関連及びヒューマンセキュリティというニューコンセプトでのセキュリティシステムを中心とした特機システム機器の専門企業として、新市場の開拓・新規分野の顧客獲得等、各機器分野市場の動向、顧客ニーズを的確に把握し、積極的かつきめ細かい営業活動を展開してまいりました。また、技術部門につきましては市場環境に応じた新需要に即応出来るよう開発体制の強化、開発期間の短縮と将来に向けての製品開発を見据えての基礎研究に注力してまいりました。一方、生産部門においてはより一層の製品コストの徹底分析と削減、生産効率の向上、品質管理の徹底を主眼とした生産システムの構築等製品競争力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当中間期の売上高は、56億2千3百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

また、損益面に関しましても、売上高の増加及び経費削減、原価低減等の改善策、生産方式の効率化を実施したことにより、当中間期の経常損失は8千4百万円、中間純損失は3千8百万円となりました。

一方、連結業績につきましては、売上高63億8千5百万円、経常損失7千万円、中間純損失は5千4百万円となりました。

【部門別概況】

[交通システム機器部門]

交通システム機器部門については、ICカード対応機器・自動券売機等、駅務自動化システム機器類及び新紙幣発行に伴うユニット類の新規受注増により、売上高は30億1百万円となり前年同期に比べ18億2千5百万円の増加となりました。

[メカトロ機器部門]

メカトロ機器部門については、金融システム機器用硬貨計数装置等の各種ユニット類の受注先送りにより、売上高は18億7千2百万円となり、前年同期に比べ1億7千7百万円の減少となりました。

[特機システム機器部門]

特機システム機器部門については、セキュリティゲート、駐輪場管理システム、地震観測システム等の新規受注増により、売上高は7億5千万円となり、前年同期に比べ2億3千万円の増加となりました。

今後の見通しにつきましては、景気は引き続き持続性のある成長を続けるものと思われませんが、一方、米国・中国景気の減速懸念、原油高騰による原材料コスト高、ハイテク関連産業の在庫調整等景気回復を妨げかねない要因を多く含んで推移するものと思われまます。

当社といたしましては、このような厳しい状況のなかで、安定した受注・売上確保に向けた技術提案型営業活動の強化、高付加価値新製品開発促進、生産効率の向上、原価・経費の削減等を積極的に推進し、業績の向上と将来への発展基盤の確立を目指して努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役社長

高見澤和夫

中間貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	8,428,616	流動負債	6,514,024
現金及び預金	1,555,759	支払手形	1,160,690
受取手形	139,435	買掛金	2,052,847
売掛金	4,083,627	短期借入金	2,840,000
たな卸資産	2,390,345	未払法人税等	26,004
繰延税金資産	148,065	賞与引当金	218,675
その他の流動資産	111,383	その他の流動負債	215,806
固定資産	3,488,300	固定負債	2,587,444
有形固定資産	1,970,058	長期借入金	550,000
建物	781,456	退職給付引当金	1,975,456
機械及び装置	11,987	役員退職慰労引当金	61,988
工具器具備品	414,054	負債合計	9,101,468
土地	755,972	(資本の部)	
その他の有形固定資産	6,588	資本金	700,700
無形固定資産	27,647	資本剰余金	1,083,430
投資その他の資産	1,490,593	資本準備金	1,083,430
投資有価証券	339,234	利益剰余金	1,005,161
子会社株式	100,000	利益準備金	109,500
敷金及び保証金	241,452	任意積立金	800,000
繰延税金資産	815,083	中間未処分利益	95,661
その他の投資等	1,713	株式等評価差額金	26,555
貸倒引当金	6,890	自己株式	398
資産合計	11,916,916	資本合計	2,815,448
		負債及び資本合計	11,916,916

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 3,779,768千円

3. 受取手形割引高 43,819千円

4. 自己株式の数 1,100株

5. 商法施行規則第124条第3号に規定する増加純資産額 26,555千円

中間損益計算書

〔自 平成16年4月1日
至 平成16年9月30日〕

(単位：千円)

科 目		金 額	
経常損益の部	営業収益		5,623,957
	売上高		
	営業費用		
	売上原価	4,598,549	
	販売費及び一般管理費	1,094,141	5,692,691
	営業損失		68,733
	営業外収益		
	受取利息	112	
	受取配当金	2,980	
	その他の営業外収益	14,116	17,209
営業外費用			
支払利息	27,293		
その他の営業外費用	5,849	33,142	
経常損失		84,667	
特別損益の部	特別利益		
	貸倒引当金戻入益	11,570	11,570
	特別損失		
	固定資産除却損	718	718
税引前中間純損失			73,815
法人税、住民税及び事業税			10,800
法人税等調整額			45,893
中間純損失			38,722
前期繰越利益			134,383
中間未処分利益			95,661

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. 1株当たり中間純損失

4円28銭

中間連結貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

(単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,765,181	流動負債	7,121,316
現金及び預金	1,810,980	支払手形及び買掛金	3,278,120
受取手形及び売掛金	4,835,065	短期借入金	3,196,000
たな卸資産	2,739,547	未払法人税等	29,711
繰延税金資産	250,870	賞与引当金	333,758
その他	128,716	その他	283,726
固定資産	3,808,097	固定負債	3,242,637
有形固定資産	2,079,540	長期借入金	550,000
無形固定資産	32,139	退職給付引当金	2,544,825
投資その他の資産	1,696,417	役員退職慰労引当金	98,235
投資有価証券	351,478	その他	49,576
繰延税金資産	1,004,604	負債合計	10,363,954
その他	349,400	(資本の部)	
貸倒引当金	9,065	資本金	700,700
資産合計	13,573,278	資本剰余金	1,083,430
		利益剰余金	1,398,943
		株式等評価差額金	26,649
		自己株式	398
		資本合計	3,209,324
		負債及び資本合計	13,573,278

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

4,025,251千円

3. 受取手形割引高

55,159千円

中間連結損益計算書

〔自 平成16年4月1日
至 平成16年9月30日〕

(単位：千円)

区 分		金 額	
経常損益の部	営業収益		6,385,660
	売上高		
	営業費用		
	売上原価	5,055,721	
	販売費及び一般管理費	1,382,080	6,437,801
	営業損失		52,141
	営業外収益		
	受取利息	167	
	受取配当金	2,996	
	その他の営業外収益	8,587	11,751
営業外費用			
支払利息	29,757		
その他の営業外費用	828	30,586	
経常損失		70,975	
特別損益の部	特別利益		
	貸倒引当金戻入益	11,570	11,570
	特別損失		
	固定資産除却損	718	718
税金等調整前中間純損失			60,123
法人税、住民税及び事業税			11,800
法人税等調整額			16,924
中間純損失			54,998

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. 1株当たり中間純損失

6円08銭

会社の概要（平成16年9月30日現在）

- ・商号 株式会社高見沢サイバネティックス
- ・設立 昭和44年10月1日
- ・資本金 700,700,000円
- ・会社が発行する株式の総数 9,050,000株
- ・株主数 762名
- ・従業員数 423名

1. 主要な事業内容

次の商品の製造及び販売を主な事業としております。

交通システム機器：自動券売機・自動精算機・定期券発行装置・自動改札装置・有人ゲート・ICカード発売機・ICカード増機・データ集計機・カード発売機・券印刷発行機・駅収入管理装置 等

メカトロ機器：券ユニット・紙幣ユニット・コインホッパー・コインユニット・カード搬送ユニット・カード処理ユニット・金融関連機器・流通関連機器 等

特機システム機器：各種自動券売機・自動精算機・券印刷発行機・入出場管理システム・駐輪・駐車場システム・各種入出場ゲート・セキュリティゲート・非接触ICカードシステム・コインゲート・両替機・各種カード発売機・無停電電源装置・地震計・環境テレメータシステム・DC/ACアダプター・突入電流測定器・オープン温度試験槽 等

2. 主要な事業所

本社	東京都中野区中央2丁目48番5号 中野平和ビル
分室	中野分室（東京都中野区）
営業所	大阪営業所（大阪市） 名古屋営業所（名古屋市） 福岡営業所（福岡市） 長野営業所（長野県南佐久郡） 高崎営業所（群馬県高崎市）
工場	長野第一工場（長野県南佐久郡） 長野第二工場（長野県佐久市） 長野第三工場（長野県南佐久郡）
研究開発施設	技術棟（長野県南佐久郡）
海外拠点	ドイツ駐在事務所（ドイツ連邦共和国フレイバルデ）

役員（平成16年9月30日現在）

代表取締役社長	高見澤	和夫
常務取締役	佐藤	統
取締役	北川	正明
取締役	増沢	敬次
取締役	広田	和資
取締役	矢ヶ崎	和良
取締役	内田	克美
取締役	梁根	操
取締役	鶴岡	亨彦
取締役	漆間	誠一
取締役	神戸	正利
常勤監査役	中島	勝
常勤監査役	寒河江	宏臣
常勤監査役	小林	満
監査役	高木	康彦

（注） 取締役のうち、梁根 操、鶴岡亨彦、漆間誠一、神戸正利の4氏は商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。

監査役のうち、寒河江宏臣、小林 満、高木康彦の3氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

決 算 期 日	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月中
株 主 確 定 基 準 日	(1) 利益配当金 3月31日 (2) 中間配当を行う場合は9月30日
名 義 書 換 代 理 人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (郵便番号168-0063)
〔郵便物送付先〕 〔電話お問合わせ〕	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)3323-7111(代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.tacy.co.jp

(お知らせ)

各種手続用紙のご請求について

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各種手続用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。